

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店 [酒] (店長)	来客数の動き	・観光客も安定している。来客数も増えているため不安材料がない。
	○	百貨店 (経営担当)	来客数の動き	・バレンタインや返礼ギフトなどの購入目的での来客数が増加している。
	○	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・3か月前と比較して来客数が増加している。
	○	コンビニ (副店長)	販売量の動き	・前月同様クルーズ船寄港に伴う訪日外国人や、20日以降の観光客の来店で前月並みの販売数で推移している。
	○	コンビニ (経営企画担当)	単価の動き	・前年と比較すると来客数の伸長は落ち着いてきているが、客単価の伸びが売上を底支えている。
	○	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・卒業旅行などの一過性とみられるが、3か月前と比べると良くなっている。
	○	家電量販店 (営業担当)	来客数の動き	・商品によってばらつきがあるが、来客数が前年比100%を捉えている商品も出てきた。
	○	その他専門店 [陶器] (製造)	販売量の動き	・最大の客先で商品の売上が伸びている。
	○	一般レストラン (代表者)	来客数の動き	・歓送迎会が活発化して、本来の来客数に近づいている。
	○	観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・3月の宿泊部門は春休みや卒業旅行の客が多く利用している。ただ売上は2019年の90%程度である。飲食宴会部門は歓送迎会などがあり売上は2019年の75%である。上向いているがまだ新型コロナウイルス感染症発生前には戻っていない。
	○	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの12月の販売室数が前年比20%減少なのに対して、3月は前年比14%減少と、マイナス幅が小さくなっている。
	○	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・前月に引き続き販売数が前年を上回る結果となっている。家族まとめでの購入も多くなっており景気が良くなっている感触がある。
	□	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・販売量は堅調に推移する見込みである。
	□	その他飲食 [居酒屋] (経営者)	お客様の様子	・例年3月は歓送迎会で数字は上がるが、週末に集中し、平日は数字が上がらなかった。今年は平日食べ飲み放題時間無制限、ステーキ食べ放題を取り入れた効果で平日も前年より入客が20%ぐらい増えている。財布のひもは相変わらず固く、コストパフォーマンスが良い上に美味しくないと手を出さないため、原価は圧迫している。
	□	旅行代理店 (マネージャー)	単価の動き	・旅行商材単価の上昇が激しく、気軽に旅行に行きにくい金額になっている。
	□	住宅販売会社 (代表取締役)	来客数の動き	・個人住宅及び投資建築案件の相談件数の減少傾向が続いている。
	□	住宅販売会社 (役員)	来客数の動き	・住宅ローン金利の先高観があるのか、新築住宅の来場者数が減少している。販売状況も芳しくない。
	▲	商店街 (代表者)	来客数の動き	・現在の商店街の景況は部分的な偏りがあり、飲食は少しだけ良くなっているようであるが、物販の方は大変厳しい状況で、来客数も少ないという話もよく聞く。
▲	スーパー (企画担当)	来客数の動き	・今月の来客数をみると、前年を超えているものの、3か月前と比べると僅かながら落ち込んでいる。	
▲	その他飲食店 [バー] (経営者)	来客数の動き	・平日の来客数が減っていて、週末も来客数の多いときと少ないときの差が激しく、1日を通してみても来客する時間帯に偏りがあり、安定した来客が見込めない。県外からの来客数は変わらないが地元の方の来客数が特に減っている。	
×	—	—	—	—
企業	◎	—	—	—

動向 関連 (沖縄)	○	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量 の動き	・今月に入っても観光客需要に引っ張られ県内の景気は拡大している。春休みなのか若い年代グループの観光客や、中華系の観光客が目立つ。
	□	窯業土石業（取 締役）	受注量や販売量 の動き	・見積依頼が公共、民間共に若干増加傾向にあるが、受注状況に大きな変化はない。
	□	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・以前から打合せを進めている客が、なかなか契約に踏み切れない。
	□	輸送業（経営企 画室）	それ以外	・次年度に向けての準備の時期という雰囲気大きな変化はない。
	□	会計事務所（所 長）	それ以外	・景気は回復基調にあるが物価が高騰しているため、一般市民の消費マインドにはつながりにくいと考ええる。
	▲ ×	— —	— —	— —
雇用 関連 (沖縄)	◎	学校〔専門学 校〕（就職担 当）	求人数の動き	・3月1日の就職活動解禁に伴い、今まで以上に求人票や学内説明会の依頼を頂いている。4月も多くの学内説明会が予定されているが、5月以降も前年度以上の実施が見込まれる。また、前月に引き続き、今まで求人をしていない企業の来校も複数ある。
	○	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・派遣依頼は従来の既存客以外からもあり、社会が全体的に活発に動いている。
	○	学校〔大学〕 (就職支援担 当)	雇用形態の様子	・新卒採用求人の企業から給与のベースアップなどの話が聞こえてくる。物価高騰は続いているようであるが、賃上げに少し期待したい。
	□	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・求人案件に対して求職者の応募が少なく、人手不足感が否めない。
	□	求人情報誌製作 会社（営業）	求人数の動き	・年度末となり求職者の転職活性化が見込めるため、それに伴って企業採用活動も活性化し、求人数増加と予測していたが、前月とほぼ同様の求人数となっている。求職者の応募活動は予測していたとおり増加傾向にある。
	□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・3か月前と比べ、求人票の賃金を増額する事業所が増えてきている。求人数については、前年同月比で横ばいである。求人票の賃金を増額するも、充足に結び付かない状況もある。また、物価高の影響で賃金を上げられないという声も多い。引き続き物価高の影響を注視している状況である。
	▲ ×	— —	— —	— —